

浦安市基幹相談支援センター事業

浦安市基幹相談支援センター事業がスタートして2年目を迎えています。

「とも」では設立の平成13年から、相談事業を障がいの種別を問わず、24時間365日体制で行っていました。その後、平成15年からは浦安市の相談事業を受託。平成18年度からは障害者自立支援法に基づく相談事業として運営してきました。

また平成24年度4月からは制度改正で、サービス等利用計画の作成が始まりました。地域に相談支援事業所が増えることなども踏まえ、自立支援協議会でも協議された結果、今まで浦安市が委託していた総合相談事業は廃止。新たに、地域の基幹的役割を持たせた「基幹相談支援センター」を設置することとなりました。

基幹相談支援センターの事業は、大きく分けて5つになります。

- ① 24時間365日、ワンストップで障がいの種別を問わず、困難ケースの総合的な専門的相談支援（この中には、権利擁護・虐待の防止、地域定着・地域移行なども含まれます）
- ② 地域の相談体制の強化（人材育成・ネットワークの構築・事業者支援）
- ③ 自立支援協議会の事務局
- ④ 居住入居等支援
- ⑤ 計画相談（上限30件まで）

以上の事業を公募を経て「とも」が行うこととなりましたが、初年度はいきなり役割変更とはいかず、総合相談の時よりも一名少ない職員配置の中で、総合相談時代から変わらない業務に加え、基幹相談支援センターになって加わった事業を行ってきました。

「とも」では上記②以外の事業は総合相談の時代から行ってきましたが、①については内容が変わり、地域の利用者さんからの相談は直接地域の相談事業所が受け、支援困難なケースなどは基幹相談支援センターが担当したり、相談を受けた事業所と一緒に解決していく「バックアップ機能」の役目になりました。

そうはいつでも、今までの利用者さんがいきなり別の相

談事業所に相談に行くということにはなりませんし、基幹相談支援センターに相談にいらした方を他に回すことも原則できませんので、総合相談の24年度実績の利用者さん215名のところ、基幹相談支援センターになっても増加し、217名のご相談がありました。

これだけの直接相談を受けながら、基幹相談支援センターの主だった事業である、地域の相談体制の強化としての人材育成や事業所支援などを行ってきた一年でしたが、個別の相談に関しては、障害福祉サービスを利用する方々が「計画相談」を利用することで、相談は地域の事業所に分散され、本来の基幹相談支援センターに求められる役割に移行されていくのではないかと考えています。

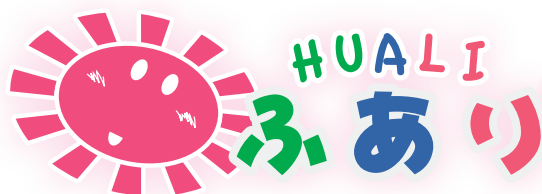
基幹相談支援センターの重要な役割である、相談体制の強化としての人材育成、事業所支援、ネットワークの構築を、年間22回の研修、勉強会、講演会、実務者会議、連携会議などを通して行ってきました。

相談支援は利用者さんの生活を大きく変えてしまうほどのものです。だからこそ、人材育成が必須と感じます。基幹相談支援センターでは、相談員さんの質の確保はもっとも重要なことと考え、スキルアップ講座を開催してきました。地域みんなで「相談とは何か？」という共通理解を持つことは本当に大切なことであり、そのうえで、スキルを身に付けられるような構成になっています。

もちろん、そのほかの講演や事例検討会なども、素晴らしい講師陣で展開しています。ぜひ、基幹相談支援センターを利用していただき、地域の皆さんと相談体制の強化に向かっていきたいと思っています。

最後になってしまいましたが、利用者として“計画相談”って何？ まずどうすればいいの？ やサービス事業所として「サービス等利用計画が来ないんだけど…今のままサービス続けていていいのかな？」など疑問や困っていること、何でもご相談ください。

理事長 西田 良枝



“ふあり”が継続した発達支援を提供します!!

～ふありで“第一回おしゃべり会”を開催しました!!～

平成26年6月7日土曜日、ふありで第一回おしゃべり会を開催いたしました。当日はお母さん、そしてお父さんの参加もあり、「今、気になっていること」をテーマにわきあいあいとした雰囲気で行うことができました。皆さんの気になることは、やはり「就学に向けて」ということで、いろんな角度からの質問や情報の交換などが行われました。今年度ふありでは、土曜日に保護者グループの活動を取り入れたプログラムを実施していきます。もちろんこのおしゃべり会もその一つ。ふだんひとりで悩んでいた、他の人はどうしているんだろう?と情報がほしくなり、きつと誰でもあることだと思います。今、悩みを持つお母さんには同じ悩みを持ちながら、すでにその道を通ってきた先輩お母さん達の経験が、

なによりも知りたい情報ではないでしょうか。お父さん、お母さん達が知り合い、同じ悩みを共有できる環境は、今後の子ども達の成長過程でも必要で、抱える問題の解決にもつながる力になります。今回の感想のなかで、「夫婦で話し合っても意見が違ふこともあり、喧嘩のようになってしまう」ことがほかの家庭でもあることがわかり、ちょっとほっとした」という記載がありました。辛いことや逃げたくなることもあるけれど、“自分だけではない”ことや一緒に力になってくれる仲間と知り合えるこ

とがとても大事です。日頃会社勤めのお父さんたちも同じで、父親としての悩みも共有できるといいですね。おしゃべり会だけでなく、家族で参加できるイベントや季節の行事など一緒に楽しめる機会もつくっていきたいと考えています。どうぞお楽しみに…。



基幹相談

【自立支援協議会について】

5つの部会で構成される浦安市自立支援協議会では、5月12日から7月3日までの間に全5部会の開催がありました。5月に開催した第1回自立支援協議会では、各部会のリーダーより25年度活動報告がなされ、浦安市からは障がい福祉に関するアンケート調査結果の報告がありました。

地域生活支援部会では、26年度浦安市の新規事業としてグループホーム整備や重度障がい者等支援のための補助金制度の紹介があり、委員の皆さんからは、昨年からの課題であるヘルパーの人材不足と処遇の改善について、事例を踏まえて切実なご

意見をいただきました。

権利擁護部会では、25年度成年後見制度と虐待防止センターの実績報告があり、年間を通じた啓発、広報イベント計画、バリアフリーハンドブックの活用についてなど建設的な意見が交わされました。

6月にはこども部会を開催し、こども家庭課より新規事業として、子ども・子育て支援新制度の紹介が行われました。相談支援部会では、サービス等利用計画の進捗状況や評価の視点について行政の説明と共に、現場の課題や計画相談のあるべき姿について、終了時刻を超え活発な議論が交わされました。7月には本人部会を開催し、特に差別や合理的配慮に関する意見や課題を当事者の生の声として発信していただきました。

浦安市身体障害者福祉センター



新年度から「ヨガ」と「歌」の2つの講座が新しくスタートしました。

歌の講座は10代から70代までと幅広い年齢の方々が参加しています。講座の内容は利用者さんのリクエストを募って曲を決め、先生のステキなピアノ伴奏のもとで練習をしています。曲は年齢層を反映し昭和の懐かしい歌や、ゆず・嵐など最新のPOPなど幅広いのが特徴です。

ジュネレーションギャップはあるものの、若い利用者さん達は懐かしい歌を一生懸命覚えて唄い、先輩利用者さん達はPOPを「バックコーラスで頑張るからね!」と積極的に参加して、講座はいつも楽しく温かい雰囲気で行われています。

また、ヨガの講座は一般的なものと異なり「ヨガ」と「リハビリ」を組み合わせた「ヨガビリー」というものです。肩こり対策や最近流行のふくらはぎ健康法など、身近な話題を取り入れた内容は無理なく自然な姿勢で椅子に座ってでも行えるように工夫されています。

先生の美しい身のこなしにうっとりしながら、利用者さん達は「楽しかった」「身体が楽になった」「家でもやってみる」などと、楽しく取り組んでいます。

身体障がい者福祉センターでは「自立訓練・生活介護」に通う方々と「地域活動支援センター」に通う方々に、セラピストが機能訓練をしています。

「自立訓練」では自立した生活能力の向上のため、「生活介護」では安定した生活を営むため、それぞれ専門のセラピストが毎日対応しています。また「地域活動支援センター」では各セラピストが、健康の維持や二次障害の早期発見を主な目的に、定期的な機能訓練を行っています。

これらはいずれも「病院から退院し、地域での生活を決めた方々」への生活の支援のため。「その生活を支えるご家族」の負担軽減など、より快適な暮らしを提案できるように取り組んでいます。

微力ではありますが「障がい者の方々が地域で元気に、健康的に暮らせる」ようにスタッフ一同、力を合わせて頑張っています。



【基幹事業について】

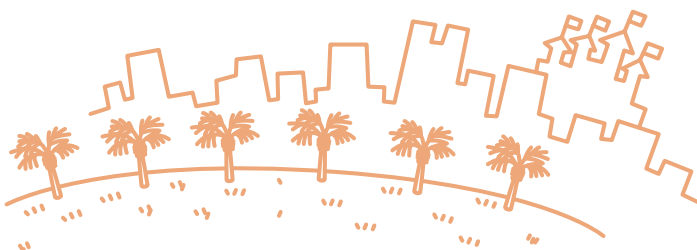
地域の相談支援体制の強化を目指し、年間を通して様々な勉強会、講演会を企画しています。相談支援スキルアップ講座は、昨年よりも回数を増やし、年10回の連続講座としています。

6月には第1回連携会議を開催し、行政や相談員だけでなく、民生委員、介護スタッフ、支援員、教育現場の先生方など昨年を上回る関係機関の皆様にお集まりいただきました。

さらに事例検討会を開催し、関係機関の皆さんから寄せられた困った事例を元に、先生の解説を交えながら、支援のポイントを学びました。

7月には、地域の支援者を対象に精神障害をテーマにした講演会の他、相談支援専門員が集まる相談支援実務者会議を開催しました。

これから下期に向け、さらに地域の皆さんのお役に立てる事業を展開してまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



後援会「ともと歩む会」のお知らせ

こんにちは。今年も、“暑い夏”がやってきました。お変わりなくお過ごしでしょうか。

前月号のとも通信に折込させて頂いた振込取扱票で今年度も多数の方からご参加を頂きました。ありがとうございます。

「ともと歩む会」では、「とも」の安定した事業運営を支援するため、より多くの方にご賛同・ご参加いただけることを願っています。

一緒にともを支える仲間になりませんか。

「ともと歩む会」申し込み方法

- ◆年会費は 3,000 円です。
- ◆都合上、4 月に更新とさせて頂いております。
- ◆4 月発行のとも通信に振込取扱票を同封させて頂いております。

口座番号・郵便振込先：00120-0-536557 / 名 義：中田光昭

発行：社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とも
〒279-0022 千葉県浦安市今川1-14-52

＜編集後記＞今年もあっという間に半年が過ぎてしまいました。毎年恒例のこの茹だるような夏の暑さに負けずに健康的に過ごしていきたいですね。皆様も熱中症などには特にお気をつけて過ごしてください。【S】